



特集

支え合い

共に歩んだ20年

芸術文化ホール・図書館は二十歳になりました

動画でも特集！

きたひろTV



問合せ 芸術文化ホール (☎372-7667)・図書館 (☎373-7667)

JR北広島駅東口を出てすぐ、エントランスを中心に左右に伸びやかな曲線を描く印象的な外観。平成10年10月に開館した芸術文化ホールと図書館は、このたび二十歳を迎えました。

市民の皆さんやボランティア団体と共に歩んできた20年。そして、これからの芸術文化ホールと図書館について一緒に考えてみませんか。

待ち焦がれた開館

かねて市民の皆さんから施設整備の希望が多かった、文化ホールと図書館。平成8年の市制施行を機に建設されることになりました。

芸術文化ホールは、皆さんの公募により、たくさんの花や緑に囲まれたイメージから「花ホール」という愛称が付けられました。ホールの天井には、花をモチーフにしたシャンデリアもあります。当時の公共施設としては珍しい、バーコーナーがあることも特徴の一つです。

図書館は、フロアリングや書棚、椅子など、木のぬくもりを感じられるようにこだわって造りました。中

央公民館図書室しかなかった平成9年は、蔵書数が5万5千冊でしたが、図書館が開館した10年には8万冊と一気に増加しました。その後も蔵書が増え、現在では地区分館・分室も合わせて30万冊を超えています。

図書館開館と同時に各地区図書室に司書が配置され、端末を導入し、ネットワークによる管理を開始。図書館で借りた本を分館で返却できたり、分館にない本を取り寄せることができたりと、図書の貸し出し環境は飛躍的に改善されました。

共に歩み、共に育つ

生涯学習の拠点として、市民の皆さんと一緒に育てていきたいと考え、開館当初から芸術文化ホール・図書館ともボランティアの皆さんと共に歩んできました。

芸術文化や読書を生活の中に定着させるには、市民の皆さんの知恵や意見を生かした施設運営をすることが必要です。

その役割を担ってきたのが、花ホールスタッフの会と図書館フィードネットの皆さんです。





芸術文化 ホール

多彩な芸術が豊かなハーモニーを奏で、市民の感動が花開く場所として、オープンしました。

ステンドグラスが輝くホワイエを抜けると音響に定評のある597席のシューボックス型ホールがあります。側壁を移動すると両袖のある舞台へ変身し、演劇などにも対応する多目的なホールです。

施設の中央を通るギャラリーに面して各種の展示会ができるギャラリーを備え、2階には大小4つの活動室、完全防音の練習室が2部屋あります。

毎月第2水曜日に行われるロビーコンサートのほか、演劇や講演会、展示会、サークル活動などたくさんの市民の皆さんに利用され親しまれています。

芸術文化ホールの主催事業として、著名な歌手や演奏家、落語家などを招いて公演を実施。札幌交響楽団の公演は毎年恒例となっており、市民の皆さんにとって身近な芸術鑑賞の機会となっています。

市内各地区でデリバリーコンサートも実施し、ジャズや民謡などさまざまな芸術文化に気軽に触れられる機会づくりを行っています。

芸術文化振興の拠点として、多くの市民の皆さんに利用されている芸術文化ホール。平成29年度は約8万7千人の利用がありました。



図書館

バリアフリーで木のぬくもりが感じられる、誰でも利用しやすい、優しい施設を目指して造られました。市民が支える「市民の書齋」、それが北広島市図書館です。

1階の開架フロアは1,580㎡で総合体育館のメインアリーナとほぼ同じ広さです。蔵書数は地区分館を合わせ、3月末現在約34万5千冊。平成29年度の貸出冊数は約48万8千冊で、これは市民1人当たり年間8.31冊借りている計算になります。

2階にはAVサロンやオーディオコーナー、読書室、ボランティア活動室、点訳室などがあります。読書だけでなく映像や音楽を楽しむ場、ボランティア活動の拠点として活用されています。

市内には4つの分館・分室があり、各館に司書を配置。図書館とオンラインで結ばれ、読みたい本がない場合は予約やリクエストができ、他市町村の図書館から取り寄せることもできます。

- 大曲分館（夢プラザ2階）
- 住民センター図書室（団地住民センター2階）
- 西の里公民館図書室（西の里公民館内）
- 西部小分室（西部小学校内）

ほかにも、移動図書館車「くまさん号」や高齢者などへの図書宅配サービス「夕やけ便」などで利用しやすい体制を整えています。



図書館フィールドネット運営委員会(Fネット)

図書館を拠点に活動するボランティア団体のネットワークで、図書館と連携してさまざまな事業を主催する市民組織です。

文庫の会やおはなしの会、本の修理、朗読、点訳など9団体、約140人が所属しています。

暮らしの中に読書を定着させるため、市民による市民のための事業として、読書まつりや古本ばくりっこ、人形劇公演など多くのイベントを開催。年間を通して、朗読・点訳サービスや乳幼児を対象とした本の読み聞かせ、本の修理、大人向け朗読会なども行っています。

読書まつり



古本ばくりっこ



おはなしの会



パペットカーニバル



ベストリーダー家族に認定!

白樺町の横山スミさん家族を、図書館開館からの20年間で最も本を借りた「ベストリーダー家族」に認定しました。スミさんと子ども2人の家族3人で合計1万4018冊の貸し出しがありました。



「身近に本がないと落ち着かない」と語るスミさん。夜に本を読み始め、夢中になり過ぎて気が付くと朝になってしまっていることもあるそう。「目が見えなくなるまで本を読み続けます」と笑顔で話してくれました。

図書館フィールドネット運営委員会

代表 北川由合子さん



本好きの友人に誘われて、12年ほど前に古本ばくりっこに参加したのが入会したきっかけでした。当時のばくりっこは、読書まつりと一緒に開催されていました。

初めは本を修理するボランティアに携わり、今は読み聞かせをメインに活動しています。

Fネットの会長としては5年目になります。人と人の結びつきが強いのが、Fネットの特徴だと思います。たくさんの団体が所属していますが、違う団体の方とも仲が良いです。イベントの準備などから協力し合っています。司書の方とも気軽に話せる関係で、お互い助け合える協働の体制ができています。職員の皆さんとは、図書館を盛り上げていく同志だと思って活動しています。

開館から20年がたち、少し古くなったとは感じますが、部屋や倉庫をたくさん使わせてもらえてボランティア活動がしやすい施設だと思います。

読書まつりや古本ばくりっこは、固定ファンが多いので顔なじみになり、子どもたちの成長を見守る楽しさもあります。

これからも、絆を深めてボランティアの輪を広げ、皆さんにもっと足を運んでもらえるような図書館にするため、協力していきたいです。

- 30年 20周年記念事業開催
- 29年 吹奏楽フェスティバル開催
- 28年 図書館入館者500万人
- 25年 北海道大学とホールが連携したポスターコンペ実施
- 24年 高齢者などへの図書宅配サービス「タヤけ便」開始
- 21年 図書館貸出Web予約開始
- 20年 10周年記念事業開催
- 18年 子どもの読書活動推進計画作成
- 17年 移動図書館車くまさん号運行
- 15年 5周年記念事業開催
- 13年 図書館入館者100万人・貸出冊数100万冊
- 12年 ヒコロレ開始
- 11年 花ホールスタッフの会発足
- 10年 ホール・図書館オープン
- 9年 図書館フィールドネット発足
- 8年 ホームページ蔵書検索開始
- 7年 ミレニアム年越しイベント開催
- 6年 図書館入館者100万人・貸出冊数100万冊
- 5年 5周年記念事業開催
- 4年 移動図書館車くまさん号運行
- 3年 子どもの読書活動推進計画作成
- 2年 図書館貸出Web予約開始
- 1年 10周年記念事業開催



花ホールスタッフの会
会長 富樫久夫さん

芸術文化ホールオープン時のボランティア養成講座を受けたのが初めてでした。まだあの頃は現役で仕事をしていたので、忙しい中で活動していたのを覚えています。講座を受けたのは80人くらいでしたが入会したのは47人。平成11年4月に花ホールスタッフの会が発足しました。

設立当時から会長を務めさせていただいてますが、振り返ると会員の皆さんの助けがあって、続けられたのだと思います。

会の事業としては、ファッションショー「ヒロコレ」を企画運営したことが一番心に残っています。大変だったけれど楽しかったです。まだ当時は、メンバーも若くてエネルギーがあったからできたのだと思います。

活動としては、ホワイエ班とウラ方班があります。来場者とのコミュニケーションや感謝の言葉をいただくことにやりがいを感じています。

ぜひ、若い方にもっと加入してもらいたいです。学生も歓迎します。若い力で今後もヒロコレのようなイベントを実施できたら良いと思います。

花ホールイベントに来られたときは、ぜひバーコーナーをご利用いただき、充実したひとときをお過ごしください。

花ホールスタッフの会

花ホールを拠点に、芸術文化振興のため活動しているボランティアの団体です。4月1日現在、38人が活動しています。

花ホールで行われるイベントを、入場案内やバーコーナーの運営、アナウンス、音響、照明などでサポートします。

自主企画運営事業として、これまでに市民参加型ファッションショーHIRO COLLE（ヒロコレ）やバックヤードツアー、夏の夜のホワイエコンサートなどを主催しています。

ヒロコレ



夏の夜のホワイエコンサート



バックヤードツアー



ホワイエ班の活動



花ホールでの演奏会を楽しみに

2つの団体に加入し、芸術文化ホールを利用しています。北広島古楽愛好の会は花ホールのすばらしい響きの中で古楽を再現したいとできた会です。駅に近くて交通の便も良いため、毎回利用したいのに人気でなかなか予約が取れないのが残念ですね。北広島混声合唱団では、3年に2回花ホールで演奏会を開催しています。自分たちも楽しみながら、多くの方に音楽を楽しんでもらいたいと思っています。皆さんも花ホールのすばらしい響きを聞きに来てください。



田谷由隆子さん

これからも歩み続ける

市民の皆さんに支えられて20年。人に例えるなら、ちょうど成人を迎える年です。しかし、「人生100年」と言われるこの時代、まだまだ折り返し地点にもたどり着いていません。芸術文化ホールと図書館は、さらに魅力ある施設を目指し、これからも歩み続けていきます。

市の芸術文化や読書の拠点として存在する両施設。ボランティアやサークル活動、イベントへの参加、読書、芸術鑑賞など、関わり方はさまざまです。コンサートに行き、気ままに好きな本を楽しむのも良いでしょう。暮らしの中に潤いを与えるため、気軽に足を運んでみませんか。

芸術文化ホール開館20周年記念 北広島に眠る秀作展

11月11日(日)～18日(日)
午前10時～午後5時

ギャラリーで、市民の皆さんの優れた芸術作品を一堂に展示する作品展を開催します。
ぜひ来てください。

